

北九州市公共事業評価に関する検討会議 での意見を踏まえた市の対応方針（案）

事業名	【事前評価２】 北九州市立大学新学部開設事業
-----	---------------------------

北九州市
令和７年８月

市の対応方針（案）
計画どおり実施

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
（１） 旦過市場の雰囲気への配慮について	北九州市の財産である旦過市場の雰囲気が守られるように、事業を進めていただきたい。	今年度、大学と市場で実施する実施設計において、これまでの旦過市場の雰囲気を守れるよう、大学及び市場と協力して取り組んでまいりたい。
（２） 大学の自主財源の確保について	企業版ふるさと納税制度などを含め、市も大学と一緒に、大学の自主財源の確保に努めていただきたい。	企業版ふるさと納税制度を活用するなど、市もしっかりと支援し、大学の自主財源確保に向けて取り組んでまいりたい。
（３） 事業費の増額への対応について	資材価格等の高騰が続いており、事業費増の可能性が高いことを念頭に置いて対応を考えていただきたい。	今年度の実施設計において、工期の短縮や整備費の圧縮など、より一層のコスト削減が図られるよう、支援してまいりたい。
（４） 建物完成後の維持管理に対する工夫について	敷地が狭いことから、完成後の改修・修繕工事を踏まえ、市場と調整のうえ、適切な維持管理ができるよう工夫していただきたい。	今年度の実施設計において、完成後の改修工事等を含め、適切な維持管理ができる設計となるよう、支援してまいりたい。
（５） 学生の駐輪場の確保について	大学と相談のうえ、学生用の駐輪場の確保を検討していただきたい。	大学からは、交通利便性の高い都心部に設置する学部のため、基本的には通学等は公共交通機関の利用を想定していると聞いているが、自転車を利用する場合は、既存の駐輪場やシェアサイクルなどを活用させることや、ルール・マナーの遵守を徹底させることを大学に申し伝える。